

大牟田市立銀水小学校

1 本校ESDの特徴

本校では、地域教育力の効果的活用を図りながら、学習活動として学年の実態に応じた単元構成の工夫をしながら、環境・エネルギー、地域遺産・世界遺産、人権・福祉の学習などを重視した取組を行っている。特に低学年においては、児童の興味関心を大切に、楽しく遊びながら、身近な自然環境に関わることができるようにしている。3年生以降から人権・福祉教育として、「人」とのつながりを通して、共生社会の生き方について考えるようにしている。特に5年生においては、地域にある福祉施設で暮らすお年寄りの方々との交流を通して、その関わり方について考えを持つとともに、自分の生活と関連付けて考えながら、学習したことを全校児童に発信していくようにしている。

このように、本プロジェクトでは、地域と直接関わる体験を重視し、その特色を活かしながら地域に対する豊かな感性を養うとともに、郷土の文化や生活に親しみ、郷土を大切にしようとする態度を育てるようにしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

【環境・エネルギー】

- 1年生「ひとつぶのたねから」・2年生「ぐんぐんのびろ」
(生活科 4月～12月 1年10時間、2年生14時間)
- 3年生「銀水グリーンプロジェクト」 (総合的な学習の時間 32時間)
- 4年生「めざせエコロジー博士」 (総合的な学習の時間 21時間)

【地域・世界遺産】

- 2年生「まちたんけん」 (生活科 5月・11月・1月・2月 42時間)
- 4年生「守っていこう郷土の宝」 (総合的な学習の時間 9月～12月 24時間)
- 5年生「自国文化に触れよう・銀水太鼓」 (総合的な学習の時間 25時間)
- 6年生「守っていこう郷土の宝・世界遺産」
(総合的な学習の時間 11月～12月 20時間)

【人権・福祉】

- 1・2年生「みんなでなかよし」 (生活科 9月～3月 1年19時間、2年生16時間)
- 3年生「心を伝えて」 (総合的な学習の時間 9月～3月 35時間)
- 5年生「共に生きよう銀水」 (総合的な学習の時間 4月～10月 36時間)
- 6年生「ふみだそう 夢への第1歩」 (総合的な学習の時間 4月～7月 10時間)

3 特徴的な活動事例

<5年生 総合的な学習の時間 単元「共に生きよう～お年寄りとのふれあいを通して～」>

(1) 目標

- 福祉施設で暮らすお年寄りの生活や環境、思いや願いについての調べ方やまとめ方を自ら考えることができる。(学び方・考え方)
- お年寄りの思いをくみ取り、考え、わかったことをこれからの生活の中で実践することができる。(主体的・創造的な態度)
- お年寄りとのよりよい関わり方について自分の考えを持ち、自分の生活と関連づけて自

分にできることを見いだすことができる。(自己の生き方)

(2) 実践の展開

①お年寄りについて調べ課題を設定し、追求する計画を立てる。(13時間)

- お年寄りの体験をする。
- 久福木サン荘訪問に向けての準備をする。
- 第1回久福木サン荘訪問
- 訪問後の反省をし、感想を交流する。さらに、各施設についてまとめる。



② 追求する計画を立て、実践する。(11時間)

- 久福木サン荘訪問に向けての準備をする。
- 第2回久福木サン荘訪問

③計画を評価し、自分たちにできることの実践をする。(4時間)

- 訪問後の反省をし、学習を通して考えたことや気づいたことから自分たちにできることをまとめる。
- それぞれの実践を発表原稿にまとめる。

④4年生に向けて発表会を開く。(8時間)

- それぞれの実践を発表原稿にまとめる。
- 自分にできることの実践など、日常生活への広がりを発表する。

(3) 子どもたちの様子

大牟田市には多くの高齢者が住んでいることを知り、さらに、大牟田市の高齢化について調べた。お年寄りについて調べ学習を進めていく中で、実際に交流してみたいという思いが生まれた。そこで、自分たちもお年寄りの生活を体験しようと疑似体験を行い、お年寄りの思いや気持ちに迫った。お年寄りの生活の不自由さに気づきながら、介助する側の大変さにも気づくことができた。

(4) 成果と課題

<成果>

- お年寄りに優しく接することだけでなく、もっと関わりを持とうとする気持ちが生まれた。また、自分たちにできることをすぐに行動に移し、久福木サン荘の秋の祭りに参加し、交流した児童や地域のお年寄りとの会話が増えた児童など活動の広がりが生まれ、その良さを実感できた。

<課題>

- 活動を報告する場の設定をしっかりとすべきであった。4年生という対象が適切であったかを再検討する必要がある。また、交流後の日常生活への広がりには差が見られたため、一人一人の課題意識を高めることが大切である。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・「環境・エネルギー」における3年生銀水グリーンプロジェクトでは、バケツ稲を育てる活動から、植物の成長に関して様々な環境の影響に目を向けながら実践させていくことができた。

○課題

- ・「守っていきこう郷土の宝・世界遺産」の計画においてどのような活動実践を行っていくか、その単元計画の見直しと改善。